

シリーズ：『挑戦』を支えるもの

～「旅の安全の日」を迎えるにあたって～

■『旅の安全の日』

7月1日(土)は『旅の安全の日』です。2014年の制定から4年目を迎え、年々模擬訓練に参加される旅行会社も増加し、業界における安心安全のミニマムスタンダードとして「旅行安全マネジメント」が定着しつつあります。

今年も7月3日にJATAが主催する模擬訓練が実施される予定で、多くの旅行会社が参加される見込みです。

■年に一度は模擬訓練の実施を

緊急重大事故や巨大災害が起こった際には、確定・不確定の情報が入り乱れ、予め想定できないような混乱が生じます。旅行会社社長と安全管理責任者は、旅行者の安全を最優先としながら、状況把握・原因調査・責任関係の整理・家族対応・情報管理・マスコミ対応・株主対応・その他の会社業務の通常遂行・事業継続など、一度に多種多様な物事に対してスピードと正確性を伴った対応・判断を求められます。

いざという時に備えて緊急連絡網を常にリニューアルし対応マニュアルを整備することはもちろん

大切ですが、実際の事故や災害の発生時にそれらが機能しなければ意味がありません。

それらが本番で十分に機能するかを検証するためにも、年に1回程度の模擬訓練の実施が必要といえます。各社ごとに取り扱うツアーの実態やお客様層、デスクインフォメーションごとに備えるべき内容は異なります。本番さながらのシミュレーションを実施することで、実際にはうまく機能しない点、不十分な点などが明確になるはずですよ。

■外部の視点を入れることで 備えに厚みを持たせる

各種マニュアルの策定や模擬訓練の実施にあたっては、自社だけで完結せずに第三者の多角的な観点からのアドバイスを取り入れることも有効です。自社のみでは想定できなかった事態・観点への備えをすることができ、より厚みを持った実践的な準備が可能となります。

東京海上日動では従来より、事故後のサポートはもちろんのこと、平時における事故対策マニュアルの整備、事故・災害に備えた

社内体制構築、必要十分な保険での備えなど、幅広くアドバイスさせていただきます。

また、長年に亘って蓄積された事故対応のノウハウをもとに、有事の際のクライシスマネジメントをより一層強化し、事故時における「保険+α」のサポートを組織的に行う専任体制を整えています。

■「リスク・ソリューション・パートナー」として

旅行中の事故はもちろんのこと、サイバーリスク・労務管理リスクなど旅行会社を取り巻くリスクは時代とともに大きく変化しています。我々東京海上日動は、皆さまとともに取り巻くリスクや解決すべき課題を共有し、グループで蓄えた幅広いソリューションを活用することで課題解決にご協力する「リスク・ソリューション・パートナー」として、今後も旅行業界と一緒に歩んで参ります。是非お気軽に東京海上日動の営業社員までお声がけください。

(東京海上日動火災保険株式会社
旅行営業部)

挑戦の数だけ、 保険がある。

To Be a Good Company



東京海上日動

